

「国土管理専門委員会」の全体とりまとめイメージ

【2017年とりまとめ】(H29.5) 「これからの国土利用・管理に対応した国土利用計画(市町村計画)のあり方」

・第1回～第4回の議論を踏まえ、国土利用計画(市町村計画)を「国土・土地利用に関する市町村のマスタープラン」として活用し、市町村レベルで地域構造の転換を図っていくことを提言

【2018年とりまとめ】(H30.6) 「人口減少下の持続可能な国土の利用・管理のために」

・第5回～第8回の議論を踏まえ、市町村・地区レベルで持続可能な国土管理のあり方を検討するに当たり、各地域が共通して直面することが多い課題と解決の方向性について、分類、整理

【2019年とりまとめ】「収益性等の観点から利用が困難な土地の管理のあり方」(仮称)

※新たな施策の提言(収益性等の観点から利用が困難な土地への支援等)

持続可能な国土利用・管理に向けたステップ

ステップ①：自分たちの暮らす地域について改めて考える

「土地」の視点

課題：土地の現状の把握・共有等

土地の活用可能性等の把握

実態の共有と「見える化」

〈今年度の議論で特に掘り下げる論点〉

収益性等の観点から利用が困難な土地の判断

ステップ②：土地の使い方を選擇する

「土地」の視点

課題：地域に適した土地の使い方の選擇

維持・回復

用途の追加
やアレンジ

土地利用
を転換

利用
する

利用
しない

外部不経済を抑制
するための管理

定期的な状況
の把握等(※)

※必要最小限の管理と定義する

・利用しないと判断した土地に関する、外部不経済に応じた管理のあり方

・利用しないと判断した土地に関する、様々な視点からの負の効果(外部不経済)の抑制を意識した管理のあり方

課題：様々な視点からの効果を意識した土地の使い方の選擇

自然共生

国土管理

地域づくり

防災・減災

ステップ③：実現に向けた具体的なアクションを実行する

「人(主体)」の視点

課題：人(主体)の確保と維持

課題：主体間の役割分担と意識の共有

「土地」の視点

課題：土地所有者との合意

「仕組み」の視点

課題：国土の国民的経営の推進と国土管理活動の収益化

課題：公的な資源等の有効活用

・利用しないと判断した土地について、外部不経済に応じた管理を実施する上での「人(主体)」、「土地」、「仕組み」の視点からの課題及び解決の方向性を整理

・特に、外部不経済の抑制等の観点からの広域的な視点での評価など、公的主体との調整プロセスの必要性について、「仕組み」の視点から整理

※ステップ③で示した課題は、ステップ①及び②の過程で生じる場合もある。

+ 国土利用計画等の共有・推進等による継続性の担保
外部不経済の抑制等の観点からの広域的視点からの評価

【全体とりまとめ】

「人口減少下の国土の利用・管理に向けた提言」(仮称)